

北秋田市民病院

「がんと共に生きる」を支援します

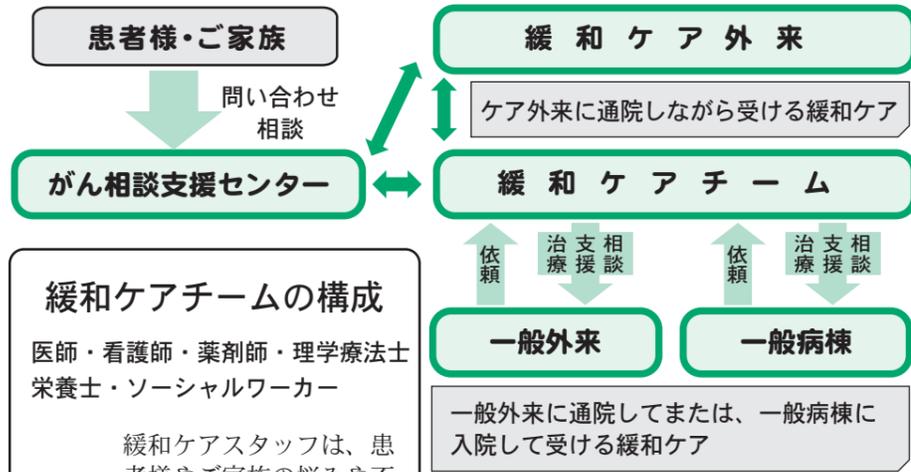
6月から 緩和ケア外来を開設

緩和ケアとは

日本人は、2人に1人が「がん」にかかるといわれています。「がん」という病気のイメージは悪く、死につながる病気と思っている人も多いようです。しかし、がんの罹患率が上昇しているにもかかわらず、がんの死亡率が減少してきているということは「がんと共に生きる」人が多いことを示しています。

現在は、病院の外来治療で、働きながら、あるいはご自宅で療養しながら過ごす方がたくさんいらっしゃいます。がん患者は、がん自体の症状のほかに、痛み・倦怠感などの様々な身体的な症状や、落ち込み・悲しみなどの精神的な苦痛を経験します。

「緩和ケア」は、がんと診断された時から行う、苦痛を和らげるためのケアです。がんなどの病気を抱える患者様やご家族の「からだ、気持ち、生活面、生きる意味や人生について思うこと」によるつらさ（苦痛）を和らげて「自分らしく生活していくこと」を支援するために、多職種のスタッフが連携して行う取り組みです。



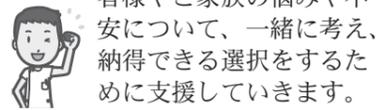
緩和ケアチームより「緩和ケア」について考えるタイミングは「早すぎる」ことも「遅すぎる」こともありません。一人で抱え込まず、周囲の医療スタッフやご家族に相談ください。



緩和ケアチームの構成

医師・看護師・薬剤師・理学療法士
栄養士・ソーシャルワーカー

緩和ケアスタッフは、患者様やご家族の悩みや不安について、一緒に考え、納得できる選択をするために支援していきます。

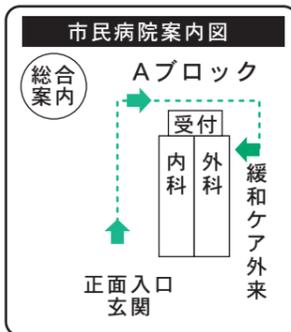


【緩和ケア外来 診療日】

第1・3木曜日 14:00～16:00（完全予約制）

【お問い合わせ】北秋田市民病院 ☎0186-62-7001（代表）

緩和ケア外来は病院正面玄関入って右側のAブロック外科外来にて実施します。



がんに関する心配ごと、悩みなど

北秋田市民病院

一人で抱え込まず がん相談支援センターへ相談を

がん相談支援センターでは、患者様・ご家族・地域の皆様のがんに関わる治療や療養に伴う疑問、不安、また療養後の社会復帰に不安を感じたときに相談をお受けします。相談は無料で、一人一人にあった問題解決のお手伝いをさせていただきます

【相談方法】

毎週月～金曜日 8:30～17:00（随時対応） 面談と電話相談を行っています。

北秋田市民病院 ☎0186-62-7001（代表） がん相談支援センター（3階）



医療救護訓練【北秋田市民病院】

災害対策本部図上訓練【市役所】



次々と搬送される傷病者【北秋田市民病院】

救急搬送訓練【グループホームもりの家】

5月26日の「県民防災の日」に合わせ、各地区で大規模地震を想定した防災訓練が行われ、多くの市民や職員が参加して有事の際の対応を確認しました。

多くの傷病者を受け入れ 治療の優先度を決定

北秋田市民病院では、地域災害拠点病院として、災害対策初動機能の充実を図るため、はじめて市民病院と消防本部合同で多傷病者受入れ訓練等を実施しました。

訓練では、地震発生後に速やかに

「県民防災の日」防災訓練

いつかより、今がその時 地震の備え



避難誘導訓練【阿仁養護老人ホーム もろび苑】

災害対策本部を設置し、院内の被災状況を確認して、多数の傷病者を受け入れ可能と判断したあと、トリアージエリアを開設し、患者の重症度に基づいて治療の優先度を判別し、必要な処置にあたりました。

本番さながらに 対策本部の図上訓練

一方、市役所では全職員によるシエイクアウト訓練と災害対策本部の構成員による災害対策本部図上訓練を実施しました。

このうち、災害対策本部図上訓練では、地震発生からの時間経過に合わせて、建物倒壊や火災、停電、道路や橋の損壊、住民の避難誘導など、次々と発生する被害の状況などが記載された「状況付与カード」が配られ、各班ではリーダーが対応策の指示を行い、記録員が対応記録票やホワイトボード、地図などに対応状況を記録して情報の共有を図ったほか、連絡票で関係する班に情報を伝達して問題の解決に取り組むなど、万一の災害発生に備えて本番さながらの訓練が展開されました。

また、グループホームもりの家（米内沢）、阿仁養護老人ホームもろび苑では、避難・救急訓練などを行い、有事の際の対応を確認しました。